

不思議な戦争

蒙古時代の歴史を見ると、戦争は侵略であり、ほとんど理由もないままに既成国家に出兵して、力づくで他民族を征服してゐる。古代ペルシヤでも、国力が盛んなると、必ず外征をやり、隣国へ兵を出して相手を殺戮し、財をかすめ、捕虜を奴隷として土木工事に酷使した。

日本の戦国時代の戦争も全く勢力争いでしかなかつた。天下を統一して將軍になつたのは織田信長、豊臣秀吉くらいなもので、將軍らしい伝統をつづけたのは足利と徳川くらいでしかなかつた。古代のアレキサンダーなどは、マゼドニアから起り、ギリシヤを統一すると間もなくペルシヤを併呑し、印度を征服し、行く先々でポリス(町)を立てた。何のために他国へ侵入するのであろうか。曰く、世界を統一するのが目的であつたらう。その他サラセンの遠征にしても回教世界の創立にあつた。全然目的のない戦争というものはない。

その頃の戦争は奪略が大目的であつたから、強い国は戦争を高亮にしていたようなもので、切り盗り強盗と変るところはなかつた。

しかし現代の不思議な戦争といわれてゐるベトナム戦争ぐらゐのわからぬ戦争も少いだらう。南北ベトナムは、十数年前迄は一つであつて、フランスの風潮から脱け出ようとして、ホーチミンを軸としてフランスと戦い、ついに勝つた。勝つたまではよかつたが、サイゴン派が共産をきつたため、ハノイと袖を分つに列つた。思想上の物別れである。そうなるかと、急に敵視し合ひ、昨日の友は今の敵となつて、南北相対して戦うことになつた。即ち共産と民衆が同民族間で兵火の中にケリをつけようといふことは、目的はどうあれ、大悲劇である。

東西ドイツ、南北朝鮮も、きわどい所まで行つてゐるが、今の所兵火は起つていない。朝鮮は一時戦火の立ちこめたこととはあるが、実は米中戦争であつたに過ぎず、迫来は何となく接近の様子が見えぬでもない。然るに、ベトナムだけは一方的に外国勢が介入してゐる。アメリカが介入主であるが、何のために介入したか? 南ベトナム、即ちハノイ民主政権にたのまれて助つた人が始りである。南ベトナムが赤化すれば東南全体に及ぶというが明文であるが、他国のゴタゴタに介入して、ぬきさしならぬ情態を招いたことは、一つに国力対するうぬぼれである。日本が世界相手にして戦つた

のもいわゆるうぬぼれであつた。

日本をやつたつたアメリカのうぬぼれは、相当なものだつたらしい。ケシ粒のやうなハノイ何するものぞ、鎧袖一釵とみたから手を貸したものの、やつてみるとなかなかやりにくい。一時は五十万からの大軍と空軍の精銳でハノイを制圧するかに見えたが、戦争の条件が悪いために、どうしても快勝できぬ。ぐずぐずして長びかせると、米国内の反戦気分が濃厚になつてくるので、現政府でもぼつぼつあせり出した。というところである。

米国民はおそろく当争者でない限り何故アメリカはハノイと戦わねばならぬのか、ほんとうの意味は判つていないだらう。なつとくのかいかに戦争をこれ以上つづけるのは愚である。いわゆる面子といふものがあるので、引くに引けぬのだ。

前大統領は名譽ある平和などと、体裁にこだわつていたが、民主党大統領候補マクガバンは無条件撤兵を表明した。

それほど国論は割れてゐるのである。第一ハノイはアメリカの即時撤兵をベトナム平和の条件として一歩も退かない。その線で押し切るかに見えたが、ニクソン政権は、それでは面目丸潰れだ、といふわけだ。アメリカの名譽にかけて、最後のひと押し、即ち北爆を強化してゐるのであるが、パリで平和を引張り出さうとしたが、一方では各地で死闘をくりかえしてゐるのは、休戦乃至平和条約に少しでも有利な条件をつかもうといふ計算からであらう。

○理由のない戦争、第二次世界大戦の原因となつた日本の対支事変も今から考へれば、日本軍部の野心と策動でしかなく、日本から戦争を仕掛けられた支那としては迷惑千萬だつたにちがいない。かりに立場を変えて日本国土に外国兵が入り込んで無法なことをしたらどうであらう。早い話が戦争によつて沖縄が英兵に占領された結果はどうであつたか。無念やろ方なない二十幾年を過ごしたではないか。

○とにかく判のわけのわからぬ戦争は一日も早くやめるべきだ。かつてピットラがロシアに攻めこんだとき、スターリンは唯一言、ドイツの侵略から祖国を守れ、であつた。これが名目のとうつた戦争だと思ふ。

古い昔では蒙古の来襲から日本を守つた北條政権だつた。これが眉をあげて誇れる話である。

系音

日米の密約をあげた (2) 横路代議士(社会党)

佐藤首相は、「そうした私事の利権に關係ないから、シマールシマールとしていられる」と答へ、これは「シマアシマア論争として有名になった。」

それが秘密電報ではマイヤー大使が「極東放送はニクソン大統領の一族にかかわることなのに(認可に)同意しないのは残念」といっているのである。だから田氏も、「政府が野党に答えたことはみんなインチキ、いかに国会と国民をだましてきたかがわかる。もう沖繩返還の一切が信じられなくなってくる。核ぬき本土並みだつて本当かどうか」とさえいっているのである。この事件、何でも外務省始まって以来の不詳事なのだ。たまたまこゝろはタヨタして、今国会の政府にとつては、とどめを刺されるほどの大失策だつた。

横路氏は、「入手したのは社会党のプロシエクトチーム。たまたま私が質問した」というが、政府はイロを失い、犯人がさかして、外務省は上を下への大騒ぎとなつたのであつた。

さすが亡父節雄氏の血筋と云つて、社会党の軍部プロシエクトチーム。これは昨年二月、党内の徹底的な軍事告発をしよう。そのために特捜査班をつくる。う、というねらいで発足した。岩国基地の核問題で爆弾を投げた横路弥之助議員をキマツブに、横路、大出、それに沖繩送迎の上原康助議員。途中から中谷鉄也議員と、参院から田氏が参加した。費用はすべて自費。社会党がつくつたのではなく、彼らがつくりあげて党に、認知をせまつたものである。いま社会党の新興爆弾三人男といわれるが、このチーム横路、横路、大出の三議員である。

そこで思い出すのは六十年安保の時に「安保七人衆」とか「安保五人男」とか呼ばれていた人たちのこと。その七人衆、五人男のメンバーの筆頭が故横路節雄議員だつたから、こんどの追及では「さすかは血筋」という人も少なくなつた。十八年前の昭和二十九年、吉田内閣崩壊のキメ手になつた、といわれる造船汚職の追及で「羅論客として名をあげた父、節雄氏。質問で「重ねて重ねて」と政府にくらいつき、ついに佐藤栄作氏の憲法許諾要求、指揮権発動まで引きおこした。社会党きつこの政策通で、外交

花の御礼

去る入植祭の演芸のみぎり、私共の出席に對し左の方々より御花を頂きました。花を頂戴致しました。失礼乍ら紙上にて厚く御礼申し上げます。

バストス連合佛教婦人会

- 西見ハマノ 様
- 西田正治 様
- 吉田フサ工 様
- 志牟田和枝 様
- 吉川次夫 様
- 吉川清夫 様
- 池田佐次郎 様
- 池田秀次郎 様
- 杉浦秀次郎 様
- 風間定乃 様
- 伊藤妙子 様
- フォト鳥本 様
- 小澤養鶏場 様
- 吉田多作 様
- 山口良夫 様
- 西條巳吉 様
- 高橋イモヒ 様
- 小茂田吳服店 様
- 橋岡イツミ 様
- 柳浦サワ 様
- 能見 様
- 板垣薬局 様
- 柔原久次郎 様
- 有馬重一 様
- 吉田与三吉 様
- 吉田きみ江 様
- 堀田 様
- 寺田 様
- 渡辺ヒサ 様
- 西ヶ迫ジョーナ 様
- 太郎田 様
- 太原菊枝 様

花の御礼

入植祭演芸会に出席致しました。左の方々より御花を頂きました。

中浦栄子

- 植原 様
- 桑原 様
- 松森 様
- 千葉パウロ 様

右まことに有難う御座いました。茲に、紙上にて厚く感謝御禮申し上げます。

防衛問題のベテラン。キリモミみたいにもみ込む質問の鋭さ」は高く評価され、政府攻撃の「飛車」などの異名をとった。その節雄氏は、北海道の小学校の先生、北教組委員長、道議会議員、そして代議士八期十五年、党の国対委員、政審会長をつとめた。

「いよいよ書記長」といわれた去る四十二年、心臓麻痺で急死した。五十六歳だった。そのとき孝弘氏は、弁護士になるための司法修習生だった。母美喜さんは、かつての左翼陣営の理論的指導者、故野呂栄太郎氏の妹である。

野呂氏は北海道生まれ、慶応大学生のころからマルキシズム理論家として名高く、昭和八年、三十四歳で獄死した。著書に「日本資本主義発達史」などがある。節雄氏札幌市西小教員のころ、野呂氏の姉の子を受持ったのが縁で、野呂氏の妹で、やはり同じ教員をしていた美喜さんと結ばれた。野呂氏が獄中で非業の死をとげて四年目、特高の目の光る中での結婚だった。

孝弘氏は四人兄弟の長男。中学生のとき、交通事故にあい、一年遅れた。いまでも左足が若干不自由で、正座ができない。東京九段高から一年浪人して東大法科へ。四十三年、札幌で弁護士開業。青法協の会員。

二十八歳で当選後、内閣委員会に屈し初任問は四十五年の三月予算委での交通問題だった。その後、十二人いる社会党の一年生の議員の中で最多登板を誇る。なかで注目されたのは、自衛隊機と全日航空機の衝突事故で「自衛隊機が民間旅客機を仮想敵機に見たこと攻撃訓練をしいた」とすっぱぬいた爆弾質問だった。航空問題ではすでに、事の一年前から航空制をとりあげ、事故の危険性を訴えていた。それだけに、たちまち「航空の横路」として名を高める。

質問は豊富なデータをそろえた立証主義。答弁に立つ役人をタジタジとさせる。とくに、福島裁判長忌避問題（長沼ナイキ速憲訴訟）は裁判官のレッドパーシにつながらるといふ追及は、小松法務大臣に、

「裁判所のような議論はこの席には不適当」とネをあげさせるほどだった。今国会では、「キザミ、タバコが少なすぎる。佐藤内閣は老人が多いのに、老人に冷たい。貧しい老人の切実な願いにこたえるべきだ」というキザミ煙算論戦と、「ポールの映画が低俗であるのはわかるが、警察が取締るのは表現の自由をおかすものではないか」というポルノ論戦で話題をまいた。

花の御礼
私共去る入植祭演芸会に出演致しました。左記の方々より御花を頂戴致しました。左に御芳名を記して紙上を以って御礼申し上げます。

- バスターズP.L.青年会一同
- バザール守越 様
 - 堂前幸太郎 様
 - 上原 様
 - 密田カズミ 様
 - 星島相枝 様
 - 照井英夫 様
 - 谷口瑛時 様
 - 大名門幸利 様
 - フオト島本 様
 - 坂口義一 様
 - 真野千里 様
 - 三鼓楽美 様
 - 今岡とくよ 様
 - 谷口スミ子 様
 - 谷口久美 様

花の御礼

去る入植祭の節私どもの拙ない出演に対して次の方々から多大の御花を頂き誠にありがたく御礼申し上げます

- バスターズP.L.婦人会一同
- 橋本イツミ 様
 - 永吉久男 様
 - 新谷久治 様
 - 板垣菜局 様
 - フオト島本 様
 - 谷口シズ子 様
 - 茂庭妙子 様
 - 密田カズミ 様
 - 真野千里 様
 - 島本スマ子 様
 - 三鼓楽美 様
 - 谷口スミ子 様
 - 小茂田呉服店 様
 - 照井英夫 様
 - 池田しづ 様
 - 池田貞子 様
 - 谷口久美 様
 - 青藤登 様
 - 上原一臣 様
 - 古川ハツ子 様
 - パール水口 様
 - 坂口義一 様
 - 伊藤妙子 様
 - 今岡とく子 様
 - 大名門幸利 様
 - 廻田昭義 様
 - 堂前幸太郎 様
 - 永松マリオ 様
 - 谷口瑛時 様
 - 星島相代 様
 - 木多春子 様
 - 森本美代子 様

右の通り御芳名を記して御礼御挨拶に替えさせていただきます。

御礼

金一封也

右は御母堂セツ様の香典送しとして御寄贈下さいました
ありがたく御礼申し上げます。

バスターズ仏教婦人会

町田源吉様

おしらせ

耳鼻咽喉専門医

三坂医院

ドクトル三坂司

みみのどはなの

せんもん病院

イ

ツパン市

ルア・ボチグワラスニ二四

電話一八五五

DR. TSUKASSA MISSAKA

Rua Potiguaras 224 Fone 1855 TUPÃ S.P.

花の御礼

入植祭演芸の拍左の方々から過分な御花を頂きました。紙上失礼乍ら厚く御礼申し上げます。

松森キクノ

戸田ツイ子 様
坂口つね子 様
桑原 様
千葉バウロ 様
榑原 様
高橋京子 様

香川県人の皆様へ急告

去る二十四日加藤与太郎氏宛にサンパウロ香川県人会の本部新会長内海義男氏からバススト又香川県人の名簿複製、会則などに付き書類送付してまいりました。ついでに此際バススト又香川県人会を面発致し県人の親睦をはかりたいと思ひますので来る八月五日午後一時より、加藤与太郎氏方に集合の上御相談致したいと思ひます。何卒御出席下さい。

花の御礼

光石たけの

ホテル宇佐美 様
宮武勝南 様
小澤養鶏場 様
石橋とし子 様
戸田ツイ子 様
水本三幸子 様
友谷千春 様
岡本はな子 様
磯谷 様
梶田商店 様
石橋三雄 様
佐藤とよ寛 様
加藤みよ子 様
加藤千鶴子 様
河本ちえ子 様
伊藤孝子 様
大塚孝雄 様
脇山静江 様
宮崎写真館 様
山本栄子 様
小林小久子 様
清家るみ 様
古川モタン 様
宮村ナオ 様

御案内

次の各寺からおぼん法要とぼんおどりに案内受けて居ります。寺に連絡して御参詣致しましょう。車の都合も考えて居ります。

八月六日 オスワルドクルス本願寺

八月十三日 ツパン南米本願寺

八月十九日・二十日 マリリア本願寺

八月二十日・二十一日 バスト又南米本願寺

当時は両日とも法要と万灯会、ぼんおどりを催すことにします。

バスト又南米本願寺仏教会

去る入植祭演芸に御花をいただいた寺関係の分は本堂に記載して御礼致します。故宜しく御了承ください。よおねがい致します。

御 禮

御 禮

中川善教大僧正猥下御法話の際寄附者

二〇〇〇	小澤将男	様	四〇〇〇	平井有敏	様
二〇〇〇	水馬久	様	二〇〇〇	大名門幸利	様
一〇〇〇	水本彰	様	五〇〇〇	古賀実	様
五〇〇〇	矢野武信	様	三〇〇〇	平井敏夫	様
五〇〇〇	満洲多一郎	様	三〇〇〇	渡辺栄喜	様
三〇〇〇	中浦成一	様	五〇〇〇	味野光夫	様
一〇〇〇	荻内武夫	様	五〇〇〇	岡本一二	様
五〇〇〇	真木輝男	様	三〇〇〇	中浦芳幸	様
五〇〇〇	荻田ふさえ	様	三〇〇〇	友谷爲男	様
七〇〇〇	池田 巖	様	三〇〇〇	平井善見三郎	様
七〇〇〇	上山明彦	様	二〇〇〇	郷原美代子	様
五〇〇〇	山中三郎	様	五〇〇〇	東 幸男	様
四〇〇〇	東 誠	様	二〇〇〇	真 木 諭	様
三〇〇〇	渡部喜助	様	二〇〇〇	島本サノ	様
二〇〇〇	大名門正敏	様	二〇〇〇	小倉津栄	様
三〇〇〇	佐藤栄太郎	様	五〇〇〇	古川初子	様
三〇〇〇	平井悟	様	二〇〇〇	新谷市次郎	様
三〇〇〇	東 清	様	一〇〇〇	小嶋光之	様
三〇〇〇	村上 章	様	三〇〇〇	真 木 保	様
三〇〇〇	三宅一夫	様	五〇〇〇	郷原章夫	様
五〇〇〇	萩原宅治	様	五〇〇〇	水口主計	様
五〇〇〇	藤原直輔	様	五〇〇〇	奥山忠蔵	様
三〇〇〇	本田一男	様	三〇〇〇	中浦三司	様
三〇〇〇	川辺イサノ	様	五〇〇〇	本田種子	様
三〇〇〇	上西泰治	様	五〇〇〇	守屋正二	様
三〇〇〇	菅野三郎	様	五〇〇〇	守屋正二	様

會計報告

収入の部	寄附額計	二二一〇〇〇	也
	法話の際の御布施	一四一〇〇〇	也
収入総計		二六二七〇〇	也
支出の部	接待費	四七一九〇	也
	週報広告料	八〇〇〇	也
	雑費	五〇〇〇	也
	スツ金剛寺協力費	五〇〇〇	也
	御布施	五〇〇〇	也
支出総計		一六一〇九〇	也
差引残高		一〇一五一〇	也

中川善教大僧正猥下を御迎えしたたごの機会に、連合仏教会の役員諸氏の御指導と、猥下より左の名称を頂き

バストス高野山同信会

という会を組織することになりました。左の役員が推薦されました。依って後日勧誘に参上に参上いたしました。た節はよろしくお願ひ申上げます。

追記
大僧正猥下には、バストス各処を御見学の為、二十日午後二時すぎ大層およろこびの上退植なされました。

御礼
左の方にはことさうにお世話になりました。厚く御礼申上げます。

- 小澤将男 様
- 本田たね子 様
- 植原信子 様
- 島本ふみ子 様
- 吉浦秀次郎 様
- 植原義一 様
- 吉田与三吉 様

真言宗世話人一同

バストス高野山同信会役員

- 会長 古賀実
- 副会長 上山明彦
- 会計 守屋正二
- 顧問 水馬久
- 相談役 真木諭吉
- 山中西泰治 様
- 小澤将男 様
- 友谷為男 様

おしりせ

養鶏家の皆様!!

鶏、ニューカッスル病に対する正しいワクチンの使用法。

及び、スライド・ワクチン製造行程 (日本語にて説明つき)

ニューカッスル病予防についての二回目の説明会ではありますが予防の完全を期すため是非養鶏家の皆様の御出席を御願ひ致します。

日時 八月八日(火)夜七時半より

場所 バストス綜合会館

主催 ロジス会社・テバルタメント

ベテリナリオ

後援 バストス文化協会

経営の偉才・市村清

★勝負に臨むまでが勝負である。

かつて私は升田名人に、人生と将棋についてきいてみたことがあった。升田さんは言われた。

「……僕は勝負というものは、その場に臨んできまるものというふうには考えていないんです。勝負は、その勝負の前についでに思うんです。だから、その場でいくら勝ったって、もうかねて負ける行ないをしていける方が負けてしまう。浮気しながら女房をどなり、子供をどなり散らすというのは、その場にいて、まぐれに一、二番勝つことはあっても、結局は負けてしまいますよ。私は、その勝負に臨むまでが勝負だと思ふんです。よ、私は！」

さすがは、升田名人だと思った。勝負に臨むまでが勝負！ 実に名言ではないか。われわれ実業家にしても同様で、重要な取引があるような場合、もちろん、その場に臨んでの心のもち方とか、呼吸ということも大切だ。しかし、それ以上に、こちらの平素の実績とか修養ということが大切だ。そういう意味から言えば、一日一日が、いな一瞬一瞬が、勝負の連続であるわけだ。そういうことの、小さな積みかさねが、重大な取引等の場合に、はつきり現われくるからおそろしい。升田さんのいう通りであって、修身、育家……そして平天下なのである。これが事業のコツでもある。

升田さんは、さいごに、「……道に精進しているかぎり、人生に裏切られることはないですよ！」と、いわれた。その通りであって、サラマンはサラリマンとして、経営者は経営者としての、自分の今与えられた仕事に、全力をつくしていけばよいのだ。そして、その仕事を通して、なるべく多くの人が、少しでも幸福になるようにと、念もなから……

自分だけよければ、他人はどうだっていい、というようなせまい根性では、彼は絶対に人生の勝利者となることできない。もうけようとしなくても、自然に儲かるようにすることだ。利己ではなく、利他なのだ。諸君よ！われわれは、愛の人になろうではないか。私は人生をほかの尺度をへ彼が愛の人であるか？、真の心の人であるか？ということにおいている。私が儲ける経営より儲かる経営へというのは、換言すれば愛の「経営法」にはかなうのである。

花の御礼

フカエ 登

永吉久男 様
 豊田和枝 様
 乗原良子 様
 新谷きよ子 様
 吉田とし子 様
 吉田きみ江 様
 川上彦夫 様
 有馬佐保 様
 寺田節子 様
 無名氏 様

花の御礼

原野小冬 様
 田川しづ 様
 山口きよみ 様
 清家ろみ 様
 高橋京子 様
 千葉バウ 様
 桧森菊乃 様
 榎原清 様
 若野耕一 様
 戸田ツイ子 様

花の御礼

去る入植祭演芸会に私共も参加致しました。左の方々より過分の御花をいただき誠に有難うございました。失礼ながら紙上を以て御礼申し上げます。

寺田篤意

吉田登 様
 桑原登 様
 梶田登 様

寺田節子

吉田きみえ 様
 吉田とし子 様
 桑原登 様
 榎原きくえ 様
 なまりざわ 様

寺田テレーザ

桑原登 様
 橋本トキ工 様
 吉田登 様

以上

死亡通知並に会葬御礼

夫、古沢市次(58)儀長らく病氣療養中の処、リンスサナトリオ病院に於て去る七月二十一日午前一時逝去いたしました。よって遺体を午後四時半バストス着、二十二日午前九時自宅出棺バストス墓地に埋葬いたしました。この儀生前辱知各位に謹告申上げ、病中度々御見舞をいただきましたことと存じ御礼申上げます。

追って葬儀の節は御多忙中遠路わざわざ御会葬下され御丁寧な御香料花輪など御恵供賜わり誠にありがたく御礼申上げます。
一々廻礼申上げる善の処取込中失礼乍ら紙上にて御礼申上げます。

一九七二年 七月二十二日

中央第四区

古沢

マツリ子

妻

かつり

子

長男

賢

一子

長女

房

子

次女

さち

子

三女

みさ

子

次男

義

男

三男

孝

男

親戚代表

本

孝

友人代表

衛

人

太本郎 田清 衛人

藤本 義 清 義

宮崎 将 介

西本 清 義

杉藤 将 介

オスカル 友谷 千之

様

様

様

様

様

様

様

様

様

ブラタク製糸株式会社

中央第四区

バストス連合仏教婦人会

佐賀県人会パウリスタ 第一支部

バストス婦人会

生長の家相・白・青年会

バストス仏教婦人会

バストス南米本願寺

バストス商工会

在聖バストス二世倶楽部

バストスP.L.教団

バストス産業組合

花の御礼

去る入植祭演芸会の節左の方々から御花を頂戴いたしました。茲に芳名を記厚く御礼申上げます。

生長の家白鳩会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|--------|------|-------|-------|------|-------|---|
| 青木一男 | 中浦富子 | 加藤与太郎 | 新八 | 小池花代 | 小沢慶子 | 名木よし子 | 鶴イモセ | 河千恵子 | 永松みよ子 | 永吉靴店 | 佐太千恵子 | 信太節子 | フット島本 | 牟田一重 | 清家仲恵 | 西条巳吉 | 岡本花千代 | K O | 小茂田 | 加藤とよ | |
| 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 |
| 荒木よし子 | 真木論吉 | 板垣薬局 | 井上繁夫 | 井上源次郎 | 寺田 | 木場重盛 | 溝畑美代子 | 吉浦秀次郎 | 早川君枝 | 梶山茂平 | 郷原美代子 | 阿部五郎 | 中浦芳幸 | 木口正功 | 上ヶ島セツ子 | 金川サキ | 柳浦さわ | 生井沢貞次 | 西田正治 | 小茂田春江 | |
| 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 |

花の御礼

入植祭演芸会の当日次の方より御花をいただきました。誠に有難うございます。紙上で御礼申上げます。七月十八日

バスト又仏教婦人会

- | | | | | | |
|------|-------|------|-----|-------|------|
| 山口良夫 | フォト島本 | 板垣薬局 | 小茂田 | 志牟田和枝 | 小林小久 |
| 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 |

花の御礼

去十六日の入植祭演芸会に私共も参加出演いたしましたところ、左の方々から御花を頂戴いたしました。失礼乍ら紙上にて御礼申上げます。

ファルツーラ農友会婦人部

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|------|------|------|-------|------|-------|-----|------|-------|------|------|------|------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|--------|---|
| 萩原典一 | 谷口しず子 | 白須まさ子 | 木場重盛 | 梶原ミ子 | 中井英夫 | 池田しづ子 | 池田武夫 | 竹内ソフィ | 豊島ス | 板垣薬局 | フォト島本 | 木皿代志 | 銅谷英夫 | 清家寿夫 | 新谷考治 | 大塚雄 | 小茂田 | 新出晴男 | 藤井光一 | 山田武時 | 谷口英子 | 池田貞子 | 早川君枝 | 宮久保ハルノ | |
| 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 | 様 |

Fabrica de Granito

Av. Rio Branco % Fone; 515 C. Post. 23 ADAMANTINA S. P.

大西石碑工場

日本式及ブラジル式
墓 碑 記念碑
胸 像 石 燈 籠
石 白 もち 白
石材美術彫刻類一切製作
古い墓碑の修理も致します
アグランチーナ市・リオブランコ大通り
大西文吉 郵函二十三番
電話五一五番

花の御礼

去る七月十六日の入植祭演芸会の節
左の方々から過分な御花を頂きまし
た。左に御芳名を記して厚く御礼申
上げます。

高橋節子

- グロリアE区 婦人会 様
- シマールカ 婦人会 様
- バストス白鳩会 様
- 連合仏教 様
- 婦人会踊子一同 様
- 生長の家青年会 様
- 石橋とし子 様
- 若野 様
- 藤川 様
- 山根三郎 様
- 紫藤キクヨ 様
- 吉田 様
- 植原菊枝 様
- 植原 様
- 吉田きみ江 様
- 栗原 様
- 吉田ふさ登 様
- 吉田初子 様
- 西田ツネ 様
- 坂口鶴子 様
- 馬欠場田 様
- 生井沢サミ 様
- 満畑美代子 様
- 中浦栄子 様
- 天野とみえ 様
- 信太千恵子 様
- 松森 様
- 吉田とし子 様
- 有馬サヨ 様
- 木口ふみ 様
- 吉川和子 様
- 森下正枝 様
- 信太セツ子 様
- 梶田 様
- 廻田房子 様
- 谷口久美子 様
- 寺田篤意子 様
- 寺田 様

御厚志誠にありがたく篤く御礼
申上げます。

以上

PREFEITURA MUNICIPAL DE BASTOS
LANÇADORIA AVISO DO INCRA

O Instituto Nacional de Colonização e Reforma Agrária através de sua Unidade Municipal de Cadastramento, leva ao conhecimento dos Senhores proprietários de imóveis rural, que se acha em cobrança o imposto territorial rural de 1972.

Os avisos de debito forma entregues em seus respectivos endereços, podendo, também ser procurados na lançadoria desta Prefeitura, os que por ventura não encontrarem os seus destinatários, bem como, outras informações.

O recolhimento deverá ser feito na agência do Banco Bandeirantes do Comércio, desta cidade.

Lançadoria da Prefeitura Municipal de Bastos, aos 27 de julho de 1972

Alguerto Paskakulis - Chefe da UMC.

おしらせ

デクラランデイトインフォルマチーボ
アフランデインジッセデ

七月二十五日、官報デクレットヒン号
（七月二十四日発令）
七十一一年一月より十二月迄に買却
したものの一切を再申請すること。
インポスト デレンダとはちがい
ます。
八月七日より十八日に申請しなけ
ればならぬので、今日から、八月十
四日まで、ノツタデ、プロツツソ
ンを当事務所へ持参して下さい。
これはバストス市役所に州府より戻る
税金を決定する大切なものですから
各自必ず実行してください。

森重事務所

電話 二〇〇

